

文化財 だより

NO.11

発行 ● 太田市教育委員会 発行年月日 ● 平成25年3月31日 編集 ● 太田市教育委員会文化財課
住所 ● 群馬県太田市粕川町520 電話 ● 0276-20-7090 FAX ● 0276-52-6080

お お す み と し ひ ら

大隅俊平美術館が開館しました！



平成24年11月18日、太田市由良町に「大隅俊平美術館」が開館しました。

刀匠大隅俊平は、昭和7年太田市に生まれ、昭和27年に長野県坂城町の刀匠宮入昭平^{みやいりあきひら}に師事し、作刀技術を学びました。昭和35年太田市に戻って独立し、その後「新作名刀展」において最高位の正宗賞^{まさむねしょう}を3度受賞しました。昭和63年には太田市名誉市民に推挙され、平成9年には重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定されました。

その作風は「^{すぐは}直刃の大隅」と^{たた}讃えられ、平成22年に亡くなるまで、直刃一筋の道を歩みました。大隅俊平美術館は、刀匠の作品を常設展示する施設として、刀匠のお住まいであった母屋を改修して、開館しました。



特集

大隅俊平美術館

常設展示

展示室1

— 刀匠の経歴・書籍展示 —

質素な生活を旨としていた大隅刀匠の日常の一コマを紹介するコーナーです。夫人の手縫いの白い仕事着や、刀匠の唯一の趣味であった将棋の盤や愛用品等を展示しています。「生活は質素に、仕事は贅沢に^{ぜいたくに}」という刀匠の言葉がうかがわれます。



展示室2

— 刀匠の道具・製作工程 —

大隅刀匠の鍛錬^{たんれん}と技術を紹介するコーナーで、ここでは日本刀が出来るまでをパネルと実物で紹介しています。

砂鉄を溶かしてつくった良質の鋼^{はがね}から、伝統的な技法によりつくられた鋼（玉鋼^{たまがね}）、更にそこから刀の姿になるまでの過程を紹介しています。この製作過程にはおよそ30点あまりの道具が使われますが、すべて大隅刀匠の手作りです。



展示室3

— 刀匠の作品紹介 —

直刃一筋の道を歩んだ大隅刀匠の作品を紹介するコーナーで、美術品としての刀の素晴らしさを堪能^{たんんのう}していただきます。刀は年に4回程度展示替えを行い、多くの作品を鑑賞していただけるようにしています。

この展示室は、鉄筋コンクリート平屋建で、収蔵室を併設しています。また、刀の展示施設として温湿度を管理しています。





企画展

開館記念展

- 期 間 平成24年11月18日(日)～12月28日(金)
- 内 容 太田市に寄贈された刀剣のほか、長さ139cmの太太刀や日光二荒山神社に奉納した小太刀などを展示しました。
- 入場者 1,517人



開館記念展ポスター



大隅俊平の太刀ポスター

大隅俊平の太刀

- 期 間 平成25年2月16日(土)～5月12日(日)
- 内 容 太田市に寄贈された14口^{ふり}の太刀を展示しました。
- 入場者 776人(3月31日まで)

講 座

刀匠大隅俊平を語る

- 日 時 平成24年12月2日(日)
午後1時30分～3時
- 講 師 小林暉昌先生(元^{てらまさ}(財)日本美術刀剣保存協会常務理事)
- 参加者 55人



ギャラリートーク

- 日 時 平成24年12月9日(日)
午前10時、午後1時
- 講 師 田村俊基氏(大隅俊平弟子^{としもと})
- 参加者 2回で66人



仕事場実演公開

- 日 時 平成25年3月17日(日)
午後1時～3時
- 講 師 高野和也氏
(大隅俊平弟子)
- 参加者 150人





史跡 かな金 やま山 じょう城 あと跡 の最新情報

- 調査場所 太田市金山町
- 調査機関 平成24年12月11日～
平成25年3月27日
- 調査面積 約214㎡
- 調査の概要

平成24年度は、3ヶ所の調査区を設定しました。曲輪の石垣や昨年度見つけた門の下層の状況と門南西方における^{おおてどう}大手道の形状を確認しました。

今回の調査区は、大手道とみられる通路跡の他に、水路、石垣、曲輪、門、段状土塁、竖堀などの多量の遺構からなります。当調査区の中心的な施設は「大手道」で、調査が重ねられた現時点では、当該調査区が門を中心として複数の構築物で構成された重要な防衛拠点であったと考えられます。この門は、金山城全体でも最大級の規模の門と推測されます。また、当該調査区で確認された大手道は幅2.4mという大規模なものでした。



曲輪東側の通路と水路の遺構（南東から）

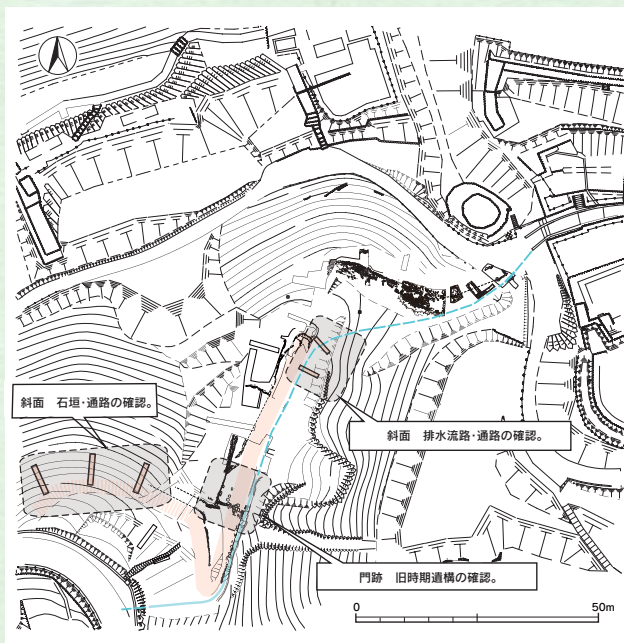
本年度調査では、今後の検証を図らなければならない点も浮かび上がっています。その最も大きな課題として、門・石垣・通路・水路等の建造時期と変遷があげられます。



門の礎石と門下層調査（南西から）



門南西方の通路遺構調査（東から）



金山城跡大手道確認調査図



金山城保存会

金山城保存会は、史跡金山城跡を愛し、整備した場所を中心とした環境美化活動等の事業を行い、史跡の美観とその価値を末永く保存・継承していくことを目的として発足しました。その活動内容は、現在復元整備が行われている場所の草刈りや

清掃活動と、来訪者に対しての案内を行うボランティアガイドを実施しています。また、会員の研鑽を高めるために史跡金山城跡に関わる勉強会や視察研修会を行っています。

環境美化活動

平成24年12月21日に史跡金山城跡の落ち葉清掃を行いました。

新しい年を迎えるにあたり、来場者に気持ち良く史跡を見学してもらうために皆さん汗を流されました。



視察研修会



江戸城跡での研修会

●とき 平成24年7月5日

●場所 「江戸城跡」

夏の暑い一日を太田道灌が築いた日本最大級の規模をもつ江戸城を見学しました。

●とき 平成24年10月2日～3日

●場所 「小山(祇園)城跡」「結城城跡」
「真壁城跡」「金竜寺」「得月院」

中世の平城や新田氏ゆかりの寺院を見学しました。



小山(祇園)城跡での研修会



史跡新田荘遺跡・江田館跡確認調査

- 調査場所 太田市新田上江田町
- 調査機関 平成24年6月26日～
平成24年9月27日
- 調査面積 約400㎡

24年度の調査は、主郭部と東面の土橋・土塁・堀部に各1ヶ所のトレンチを設定しました。



1 トレンチ 全景（南西より）

本丸の北寄りに25×19mのトレンチを設定しました。確認された遺構数は、柱穴約170本、掘立柱建物2棟、柱穴列3条、土坑75基、竪穴状遺構4基です。

出土遺物は、かわらけ片が数点、内耳土器片1点、瀬戸美濃系の天目茶碗、永楽銭一枚などがありました。

東面の土橋・土塁・堀の部分に3本のトレンチ（幅70cm、長さ計40m）を設定しました。

出土遺物は、石臼が2点、五輪塔の水部・地部、板碑片、瀬戸美濃系の天目茶碗、かわらけなどがありました。



東面土橋トレンチ設定状況（北西より）



東面土橋 土層発掘状況



史跡金山城跡来訪記念投句選考結果

第一期

(平成23年12月1日から平成24年2月28日分)

◎一般の部

○特選 (1点)

・「街騒の届く金山日脚伸ぶ」

埼玉県熊谷市

田島良生

○佳作 (3点)

・「もののふの足をとらえる霜の華」

群馬県伊勢崎市

細野長司

・「物見台立てば真北に雪赤城」

埼玉県行田市

羽山育雄

・「三ノ丸下塹壕の黄水仙」

埼玉県熊谷市

銭屋照世

◎ジュニアの部

○特選 (該当なし)

○佳作 (2点)

・「風さわぐ金山城の松の内」

群馬県高崎市

井澤亮介

・「山のぼりおちばすべってドッキドキ」

三重県松坂市

森ゆう正

第二期

(平成24年3月1日から平成24年5月31日分)

◎一般の部

○特選 (1点)

・「堀切に架かる木橋や風薫る」

埼玉県熊谷市

銭屋香宇知

○佳作 (3点)

・「城跡に時を余せり初音きく」

群馬県伊勢崎市

小暮芳男

・「石垣にかかる木漏れ日すでに夏」

東京都八王子市

小林道久

・「馬場曲輪跡の芝生に蝶遊ぶ」

埼玉県熊谷市

田島良生

◎ジュニアの部

○特選 (1点)

・「日の池が春風ふいて水ゆれて」

群馬県太田市

橋本悠我

○佳作 (2点)

・「桜舞う金山山頂焼きまんじゅう」

群馬県太田市

野口祐美恵

・「金山城春を知らせる風がふく」

宮城県亘理郡亘理町

佐藤良祐

第三期

(平成24年6月1日から平成24年8月31日分)

◎一般の部

○特選 (1点)

・「飛行機の神の胸像青葉風」

埼玉県熊谷市

平山三郎

○佳作 (2点)

・「沢水の風降りてくる涼しさよ」

群馬県太田市

池上雅夫

・「老鶯の息長く啼く古城道」

埼玉県行田市

羽山みどり

◎ジュニアの部

○特選 (該当無し)

○佳作 (2点)

・「金山の歴史をさぐる山登り」

群馬県太田市

堀越美来

・「なつなのうぐいす鳴くよかな山じょう」

群馬県太田市

永瀬心結

第四期

(平成24年9月1日から平成24年11月30日分)

◎一般の部

○特選 (1点)

・「堀切に架かる木橋や秋の風」

群馬県太田市

池上雅夫

○佳作 (1点)

・「小鳥来る城跡に日の池月の池」

埼玉県東松山市

大川陽子

◎ジュニアの部

○特選 (1点)

・「上州の金山にふく空っ風」

群馬県太田市

高橋陽拓

○佳作 (1点)

・「金山は虫がいっぱいうれしいな」

群馬県太田市

柳愛



おおたんの史跡探検スタンプラリー

太田市では市内に数多く存在する貴重な歴史遺産を、正しく理解・認識し、より身近に感じていただくために毎年小中学校の夏休み期間を利用して「おおたんの史跡探検スタンプラリー」を実施しています。

今年度も平成24年7月21日から8月31日を実施期間として、市内の文化財所在地や各資料館など合計22箇所にスタンプを設置し、参加者はガイドマップに載っている地図をたよりに、市内各所に点在するスタンプを集めて回りました。

スタンプを設置した全22箇所のうち17箇所以上を巡ると修了認定され、修了者には記念品として、文化財課のマスコットキャラクター「ぶじんくん」のイラストが入ったトートバッグが贈呈されました。

今年度は昨年を600人以上も上回る3,689名の参加申込者があり、その内の2,348名が修了認定されました。

参加者の皆さんにとって、このスタンプラリーが家族やお友達同士との夏休みの思い出作りの一助になれたのではないかと思います。



スタンプラリー実施状況（生品神社）



スタンプラリー実施状況（反町館跡）



記念品（トートバッグ）



ガイドマップとスタンプ帳



文化財講演会

と き：平成24年11月23日(金・祝)
午後1時30分
ところ：藪塚本町文化ホール
参加者：78名

今年度は「縄文土器のはなしー草創期を中心にー」をテーマとして、國學院大學名誉教授である小林達雄氏を講師に招き、文化財講演会を開催いたしました。小林達雄氏は新潟県長岡市出身で縄文土器に造詣が深く、縄文時代研究の第一人者であり、著作物も数多く出版されています。参加者にとっては文化財への理解を深める絶好の機会となりました。(講演会は例年2月に開催していましたが、今年度は会場の改修の都合で11月に開催となりました。)



講演会場内風景



講演会場内風景

講演「縄文土器のはなしー草創期を中心にー」

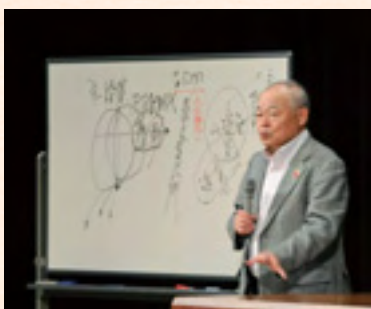
國學院大學名誉教授である小林達雄氏から、草創期を中心とした縄文土器についてご講演をいただきました。

縄文時代研究の第一人者である小林氏のご講演は、豊かな知識に裏打ちされたお話であり、質疑応答の時間では参加者の質問にもわかりやすく答えていただきました。

企画展示

藪塚本町文化ホールのロビーにおいて「縄文土器のはなしー草創期を中心にー」に関連した展示を行いました。

しもじめく つめがたもん ど き
下宿遺跡の爪形文土器やパネルなどの資料を展示いたしました。



講演中の小林達雄氏



展示会場



講演会ポスター



展示会場見学者



参加者の質問にも的確に答えていただいた



文化財めぐり

- テーマ 安中市・新島襄ゆかりの地を歩く
- と き 平成25年2月24日(日)
- と ころ 五料の茶屋本陣、碓氷関所跡、めがね橋、安中藩郡奉行役宅、武家長屋、安中教会、旧碓氷郡役所、新島襄旧宅、学習の森(安中市)
- 参加人数 37名

今回は、「安中市・新島襄ゆかりの地を歩く」をテーマとし、安中市の文化財を見学しました。

市民の関心も非常に高く、定員の5倍の応募をいただきました。

午前中訪問した五料の茶屋本陣ではひな人形展を開催しており、江戸時代から伝わるたくさんのひな人形を見学することができました。



五料の茶屋本陣

また、安中市観光協会では新島襄ヒストリートというゆかりの地をめぐる散策コースを設定しており、午後はそのコースを歩きました。

安中藩郡奉行役宅、武家長屋、安中教会を歩いてめぐり、旧碓氷郡役所では「新島襄と八重」のパネル展が開催されており、参加者は熱心に見学していました。

ただし、当日は風花の舞うかなり寒い中での散策となり、途中歩くルートを大幅に省略し、バスで新島襄旧宅を訪れました。

最後に学習の森を訪れ、展示物の解説を受けながら安中市の歴史を学びました。

非常に寒い一日でしたが、充実した見学となりました。



新島襄旧宅

中島知久平邸特別公開

太田市指定重要文化財の中島知久平邸は現在整備中につき、安全面の点からも常時の一般公開は実施しておりませんが、公開を望む声も多く聞かれることから、平成25年3月17日(日)・18日(月)の2日間という短い期間ではありましたが、特別公開を実施いたしました。

見学に訪れた方々からは建物の規模の大きさだけでなく、未整備で傷んでいるところがあるものの建材や調度品の素晴らしさに対して驚きの声があがっていました。



公開の様子(玄関棟)



公開の様子(客室棟)



にっ た ぐん が てん ら しちどう い せき

新田郡衙（天良七堂遺跡）の発掘調査

- 調査場所 太田市新田にっ た こがな いちよう小金井町1569-3、1570-1、1597、太田市天良町てん ら ちよう23、24-1、3-3
- 調査期間 平成24年11月1日～平成25年2月21日
- 調査面積 約1,100㎡

古代の「新田郡」役所である新田郡衙の調査。今年度の調査では、郡庁の東および西エリアで正倉跡が確認されました。また、北西エリアでは郡衙の北を区切る北限溝と古い時期の区画溝が確認されました。



さん し ごうどう い せきてん はくつ こ だい やくしよ

三市合同遺跡展「発掘！古代の役所」の展示協力

- と き 平成24年8月3日～8月5日
- ところ スマーク伊勢崎（伊勢崎市西小保方町にし お ぼかたちよう）

伊勢崎市・深谷市・太田市にある古代の役所跡についての展示イベント「発掘！古代の役所」（伊勢崎市教育委員会主催）が催されました。当課は新田郡衙出土の遺物の展示等で協力いたしました。このイベントでは、3市の古代の役所跡で出土した遺物等展示と、佐藤信氏（東京大学大学院教授）による古代の役所についての解説等が行われました。そのほか、ストラップ作りや勾玉作り、古代衣装などのイベントなども行われました。3日間で県内外から1,572名が見学に訪れました。



新田郡衙（天良七堂遺跡）現地説明会

- と き 平成24年12月14日
- ところ 太田市天良町（新田郡衙発掘現場）

新田郡衙の現地説明会は、穏やかな晴天に恵まれ、県内外の考古学ファン310名が集まり、正倉跡や区画溝など古代の役所跡に関わる遺構の説明を熱心に聞いていました。

また、平成25年1月21日には近隣小学生向けの現地説明会も行い、強戸小学校6年生児童ら86名が訪れました。





ほそ や はちまん い せき

細谷八幡遺跡

- 調査場所 太田市細谷町地内
- 調査期間 平成24年8月6日～9月21日
- 調査面積 661㎡

消防庁舎建設に伴い発掘調査を行いました。その結果、古墳の周溝1条、方形周溝墓1基等が確認されました。主体部等マウンド部分は、既に削り取られていたため、周溝のみの発見でした。前者の周溝については、遺跡地図にも掲載されている御殿山古墳の一部と思われます。



(調査区西から)

かわく ぼ い せき かわく ぼ に い せき

川久保遺跡・川久保Ⅱ遺跡

- 調査場所 太田市新田下田中町地内
- 調査期間 平成24年11月15日～
平成25年2月8日
- 調査面積 2,584㎡

平成23年度に引き続き、新田下田中工業団地造成事業に伴い発掘調査を行いました。その結果、川久保遺跡では、古墳時代の竪穴住居跡2軒、古墳時代以降の溝5条、古墳時代以降の土坑3基などの遺構が確認されました。溝については、平成23年度に確認されたものの延長と考えられ、特に古墳時代後期の溝は幅3m以上もあり、遺物が多く出土しました。この遺跡から出土した遺物は、土器片や石斧などで、縄文時代から平安時代まで



(調査区東上空から)

の幅広い時代のものが出土しました。

川久保Ⅱ遺跡では、奈良・平安時代の竪穴住居跡1軒、時期不明の土坑1基などの遺構が確認されました。遺物については、奈良・平安時代のものが出土しました。

き がり ま ま し た い せき

木刈・間々下遺跡

- 調査場所 太田市新田市野井町地内
- 調査期間 平成24年9月19日～9月28日
- 調査面積 33㎡

市道拡幅に伴い発掘調査を行いました。その結果、6世紀中葉以降の溝1条及び土坑3基が確認されました。



(調査区西から)



つりどう い せき

釣堂遺跡

- 調査場所 太田市新野町地内
- 調査期間 平成25年2月12日～3月15日
- 調査面積 約258㎡

市道建設に伴い発掘調査を行いました。その結果、古墳時代から平安時代にかけての竪穴住居跡11軒などが確認されました。近接地での過去の調査からも多くの住居跡が確認されており、この土地で古代から人々が暮らしていたことが窺えます。これは、この場所が宝泉台地の北端で立地条件が良い土地であったためと考えられます。



(調査区南から)

はなぞの い せき

花園遺跡

- 調査場所 太田市新田中江田町地内
- 調査期間 平成24年9月3日～9月28日
- 調査面積 約400㎡

民間の老人ホームの建設に伴い発掘調査を行いました。その結果、住居跡3軒、柱穴10基、土坑8基、井戸4基が確認されました。遺物は、主に古墳時代後期から平安時代の土器片が出土しています。



住居跡等の調査風景（西から）

とうぶちく いせきぐん

東部地区遺跡群

- 調査場所 太田市岩松町地内
- 調査期間 平成24年8月23日～9月7日
- 調査面積 約50㎡

尾島東部土地区画整理事業新設道路工事に伴い発掘調査を行いました。その結果、住居2軒、土坑1基、柱穴5基、溝1条が確認されました。この遺跡は、椀や壺などの出土遺物から古墳時代のものであると推測されます。



全景（東から）



かみしんでん い せき せ ら だ かんごうしゅうらく

上新田遺跡・世良田環濠集落

- 調査場所 太田市世良田町地内
- 調査期間 平成24年11月30日～
平成25年3月14日
- 調査面積 1221㎡

世良田地区の圃場整備事業（農道・水路開発）に伴い、発掘調査を実施しました。その結果、溝19条、柱穴39基、土坑51基、井戸5基が確認されました。世良田環濠集落の北限の堀が早川まで続くことが今回の調査で明らかになりました。



堀の跡（早川の土手から撮影）

や べ い せき

矢部遺跡

- 調査場所 太田市只上町地内
- 調査期間 平成25年2月12日～2月22日
- 調査面積 約45.5㎡

民間の老人ホームの建設に伴い発掘調査を行いました。その結果、住居跡1軒、土坑1基、井戸1基が確認されました。出土した水瓶や椀などの土器片から、この住居跡は平安時代のものと推測されます。



全景（西から）

しも た じ ま い せき

下田島遺跡

- 調査場所 太田市下田島町地内
- 調査期間 平成25年2月22日～3月1日
- 調査面積 約117㎡

宝泉南部土地区画整理事業新設道路工事に伴い発掘調査を実施しました。その結果、古墳の周溝1箇所、溝1条、柱穴5基、土坑2基、井戸1基が確認されました。



上幅約7m、深さ約170cmの溝



はまちょうこ ふんぐん

浜町古墳群

- 調査場所 太田市浜町地内
- 調査期間 平成24年10月29日～10月31日
- 調査面積 30.5㎡

太田駅周辺土地区画整理事業に伴い発掘調査を実施しました。その結果、住居1軒、柱穴2基、土坑1基が確認されました。



古墳時代の住居跡（西から）

だいにちやま こ ふんぐん

大日山古墳群

- 調査場所 太田市石原町地内
- 調査期間 平成25年1月25日～1月26日
- 調査面積 31.4㎡

民間の太陽光発電用鉄塔の建設に伴い発掘調査を行いました。その結果、大日山古墳群2号墳の周溝1箇所が確認されました。出土遺物のほとんどが縄文時代の土器片であり、古墳造成時の紛れ込み、あるいは同堀の埋没時に流れ込んだものと推測されます。



大日山古墳群2号墳の周溝（南から）

しもはら い せき

下原遺跡

- 調査場所 太田市新道町地内
- 調査期間 平成24年11月21日～11月29日
- 調査面積 約64㎡

民間の携帯電話用無線鉄塔の建設に伴い発掘調査を行いました。その結果、住居1軒、柱穴8基、土坑9基が確認されました。



土坑とピットの集合体（東から）



遺物整理業務・パンフレット作成

発掘調査が終了すると、発掘調査報告書を刊行します。当課では毎年度、出土遺物の洗浄や測、測量図の整理等、報告書刊行に向けて基礎整理作業を実施しています。

今年度は、太田市内遺跡や駒形神社埴輪窯跡、北部スポーツ公園内遺跡群、岩松千歳2遺跡等の整理作業を行いました。その結果、平成23年度に行った確認調査の概要をまとめた『太田市内遺跡8』を刊行することができました。

また、遺跡のさらなる活用のため、縄文時代草創

期（今から約1万2千年前頃）の爪形文土器が出土した『下宿遺跡』や、北関東における古墳時代前期土器の指標となった「石田川式土器」が出土した『石田川遺跡』のパンフレットを作成しました。



平成24年度 調査地一覧表

No	遺 跡 名	所在地 (太田市)	確 認 調査月	開 発 原因
1	賀茂遺跡	龍舞町	H24.4	市
2	不動山遺跡・台遺跡	藪塚町	H24.4	民間
3	向矢部遺跡	富若町	H24.4	民間
4	久保畑遺跡	寺井町	H24.5	民間
5	宮元遺跡	由良町	H24.5	民間
6	花園遺跡	新田中江田町	H24.5	民間
7	東部地区遺跡群	岩松町	H24.5	組合
8	新堀遺跡	台之郷町	H24.5	民間
9	東別所新田遺跡	東別所町	H24.6	民間
10	堀廻遺跡	新田小金井町	H24.6	民間
11	細谷八幡遺跡	細谷町	H24.7	市
12	矢部遺跡	只上町	H24.7	民間
13	西野東下遺跡	藪塚町	H24.7	民間
14	鳥山下遺跡	鳥山中町	H24.7	民間
15	木刈・間々下遺跡	新田市野井町	H24.7	市
16	高瀬前原遺跡	市場町	H24.8	民間
17	西野東中遺跡	藪塚町	H24.8	民間
18	大道北遺跡	藤阿久町	H24.8	民間
19	東部地区遺跡群	岩松町	H24.10	組合
20	F P泥流下遺跡群	尾島町	H24.8	民間
21	上泉開戸遺跡	鳥山上町	H24.9	民間
22	F P泥流下遺跡群	尾島町	H24.9	民間
23	中原上遺跡	藪塚町	H24.9	民間
24	石橋地藏久保遺跡	石橋町	H24.9	民間
25	北之庄遺跡	由良町	H24.9	民間

No	遺 跡 名	所在地 (太田市)	確 認 調査月	開 発 原因
26	反町城館跡	新田反町町	H24.9	民間
27	浜町古墳群	浜町	H24.12	市
28	下原遺跡	新道町	H24.9	民間
29	浜町古墳群	浜町	H24.10	市
30	清川遺跡	由良町	H24.11	民間
31	川向・中西田遺跡	内ヶ島町	H24.10	民間
32	川向・中西田遺跡	内ヶ島町	H24.10	市
33	新田館跡	世良田町	H24.10	民間
34	三蔵城跡	世良田町	H24.11	県
	世良田33号墳	世良田町	H24.11	県
	世良田32号墳	世良田町	H24.11	県
	世良田土屋分遺跡	世良田町	H24.11	県
	世良田環濠集落	世良田町	H24.11	県
35	北之庄遺跡	由良町	H24.12	民間
36	天神山古墳	内ヶ島町	H25.1	民間
37	大日山古墳群・雷遺跡	石原町・下小林町	H25.1	民間
38	高瀬台遺跡	高瀬町	H25.1	民間
39	釣堂遺跡	新野町	H25.1	市
40	新ヶ谷戸遺跡	南矢島町	H25.2	民間
41	F P泥流下遺跡群	亀岡町	H25.2	民間
42	天神山古墳	内ヶ島町	H25.2	民間
43	三枚橋南古墳群	大島町	H25.2	市
44	天神山古墳	内ヶ島町	H25.3	民間
45	向矢部遺跡	只上町	H25.3	民間
46	前沖遺跡	鳥山下町	H25.3	民間

開発に係る調整 平成24年度 事前協議・照合件数 及び調査面積

	公共事業	民間開発	計
事前照合・協議	66件	1,783件	1,804件
本発掘調査	7件	5件	12件
確認・試掘調査	10件	36件	46件
学術調査	3件	0件	3件
立会調査	12件	20件	32件
慎重工事	8件	291件	299件
確認・試掘調査面積	1,617.8㎡	2,154.2㎡	3,772㎡
立会調査面積	2,545.1㎡	1,613.2㎡	4,195.4㎡
本調査面積	4,904.5㎡	590.9㎡	5,495.4㎡
学術調査面積	1,714㎡	0㎡	1,714㎡



文化財模擬火災訓練

昭和24年1月26日、国宝の法隆寺金堂壁画が焼失したため、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定め、全国的に文化財防火運動が実施されています。太田市でも、毎年、この日に近い日曜日に「文化財模擬火災訓練」を実施しています。

今年度は、平成25年1月27日に細谷町の冠稲荷神社で実施しました。ここは拝殿や本殿、聖天

宮などが市指定重要文化財に指定されています。

訓練は、午前10時からこの拝殿より出火という想定で開始され、消防本部・消防団・関係者の協力のもと、初期消火作業、文化財の持ち出し、インパルス消火銃での消火活動、一斉放水などの訓練が行われました。



インパルス消火銃



一斉放水

てらやま

寺山古墳説明板・標識柱の設置

太田市強戸町にある寺山古墳は、平成23年7月21日付けで、太田市の史跡に指定されました。指定に伴い平成25年3月15日に説明板と標識柱を設置しました。これにより古墳を訪れた見学者の理解を深めることができるようになりました。

寺山古墳は、太田市で現在確認できる最も古い古墳のひとつで、墳丘の保存状態もよく、造られた当初の形をとどめている前方後方墳として太田市で唯一のものであり、大変貴重な古墳です。



寺山古墳全景



寺山古墳空撮



説明板・標識柱



新田莊歴史資料館

第5回企画展 「新田義貞の肖像―描かれた義貞―」

●期 間 平成25年3月1日(金)～5月19日(日)

●入館者数 1,206人 (3月31日現在)

元弘3年(1333)、太田市の生品神社で旗挙げし、鎌倉幕府を滅ぼした武将新田義貞の肖像を中心とした展示を行いました。展示では、「義貞の生涯」^{そんのうじょうい}「尊王攘夷の時代」^{そんおうじょうい}「皇国史観の時代」^{こうこくしかん}「新たな義貞像」の4つのテーマに分け、義貞が活躍した時代だけでなく、後世の江戸時代から平成時代に描かれた義貞の画像なども展示しました。

3月9日(土)には、峰岸純夫先生(東京都立大学名誉教授)による講演会「変革期を駆け抜けた新田義貞」を行い、86人の方に参加していただきました。



ポスター



「新田義貞の生涯」の展示



「皇国史観の時代」の展示



「尊王攘夷の時代」の展示



「新たな義貞像」の展示



峰岸純夫先生による講演会



歴史講座

「古代造形のきわみ 東毛の埴輪」

- 日 時 平成24年6月2日(土)
午後2時～3時30分
- 講 師 右島和夫先生 (太田市文化財審議会委員)
- 参加者 54人

「オクマン山古墳の発掘調査」

- 日 時 平成24年6月16日(土)
午後2時～3時30分
- 講 師 平野進一先生
(元(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団東毛事務所長)
- 参加者 46人



右島和夫先生による講座

埴輪づくり教室

- 日 時 平成24年8月1日(水)・2日(木)
午前9時～午後4時
- 講 師 榎原宗雄先生
- 講師補助 岡本彰子先生
- 参加者 16人
- 内 容 子供たちが武人や巫女^{みこ}の埴輪を作りました。



完成した
埴輪



埴輪作りの様子

たいこうあん

茶会所 大光庵

この施設は、平成4年、資料館の南に建設された、数寄屋造りの本格的な茶室です。庭園内には、外腰掛も設けられ、四季を通じてお茶を楽しむことができます。

平成24年度は、7団体の登録があり、のべ2,608人の方に利用していただきました。



大光庵



縁切寺満徳寺資料館

第27回三くだり半企画展

「三くだり半の慰謝料Ⅱ - 妻が支払った慰謝料を中心に」

- 期 間 平成25年3月16日(土)～5月12日(日)
- 入館者 497人 (3月31日現在)

現在の離婚慰謝料は有責配偶者（離婚原因をつくった配偶者）が支払いますが、江戸時代は有責性を問わず、原則として離婚請求者が慰謝料を支払いました。今回の企画展では妻方が慰謝料を支払った事例を紹介し、関連文書を展示するほか、「不義密通」の慰謝料に関する詫び証文も紹介しています。



展示の様子



ポスター

夏休みミニ企画「郷土かるた展示Ⅲ」～太田の小学校校歌を作った人々～

- 期 間 平成24年7月21日(土)～8月31日(金)
- 入館者数 2,823人

「尾島かるた」にある「もやがたつ 尾小校歌は 北原白秋」の読み札にちなみ、太田市内にある小学校の校歌の歌詞や作曲者・作詞者を紹介したほか、校歌・作曲者・作詞者に関連した書籍・CD・レコード・譜面などの資料を展示しました。また、校歌の作曲者・作詞者のプロフィールを紹介した小冊子を配布しました。





徳川大学公開講座「三くだり半と女性の地位～教科書が変わった～」

- 開催日 平成25年3月23日(土)
- 講師 高木 侃^{ただし} 名誉館長
- 参加者 33人

社会科の教科書に書かれていた、江戸時代の女性の地位や離婚に関する内容が変更されたことについて、長年の研究成果を基に講演していただきました。



群馬県史跡で聴く歌舞伎音楽 vol.2

- 開催日 平成24年7月1日(日)
- 出演 竹本三柵太夫ほか
- 参加者 111人

「平成24年度文化庁優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業 日本の宝・ぐんまの宝Ⅱ」の一環として、公益財団法人群馬県教育文化事業団主催の『三柵清次郎』がいざなう歌舞伎の世界』を開催しました。



藪塚本町歴史民俗資料館

企画展「せいぞろいオクマン山古墳のハニワ」

- 期間 平成24年4月28日(土)～6月24日(日)
- 入館者 614人

太田市城西町にあった「オクマン山古墳」から出土した埴輪約30点を展示しました。オクマン山古墳の埴輪は、鷹匠埴輪、馬形埴輪をはじめとして造形的にも優れた埴輪が多いことが特徴です。これまで、新田荘歴史資料館、県立歴史博物館、藪塚本町歴史民俗資料館、生品中学校などの施設で保管されていましたが、今回の展示では、これらの埴輪を一堂に集めて展示しました。



展示の様子



ポスター



高山彦九郎記念館

えぞち

企画展「彦九郎和歌の世界 —みそひともじのおもひ—

- 期間 平成24年3月10日(土)～7月1日(日)
- 内容 全国各地を旅した彦九郎が旅の途中で詠んだ和歌や、彦九郎と交流のあった人々が彼の死を惜しんで詠んだ和歌など多種多様な和歌を紹介しました。(入館者数732人)



展示の様子

企画展「高山彦九郎の蝦夷地への想い —『北行日記』からみた蝦夷地—

- 期間 平成25年3月23日(土)～6月30日(日)
- 内容 尊王思想家とは違う彦九郎の一面をお伝えするため、ロシア帝国の脅威が増していく時代、彦九郎が蝦夷地について想いめぐらせたことを『北行日記』などの史料を踏まえて展示しました。



展示の様子



ポスター

講演会「高山彦九郎と和歌」

- 日 時 平成24年5月20日(日)
午後2時～午後4時まで
- 講 師 青山英正先生(明星大学准教授)
- 会 場 九合行政センター
- 参加者数 50人
- 内 容 歌人としての高山彦九郎に焦点を当て、彦九郎の和歌を通じて当時の時代背景や人物像を分かり易く講演していただきました。



青山英正先生

学習会・見学会「高山彦九郎 足利の秋を訪ねる」

【学習会】

- 日 時 平成24年9月8日(土)
午後3時～午後5時まで
- 講 師 小林良男氏(高山彦九郎研究会幹事長)
- 会 場 高山彦九郎記念館

【見学会】

- 日 時 平成24年9月24日(月)
午前9時～午後5時まで
- 行 先 鶏足寺、草雲美術館、足利学校ほか、高山彦九郎と関わりのある地を訪ねました。
- 参加者数 18人



見学会の様子(鏗阿寺にて)



史跡金山城跡ガイダンス施設

体験学習

内 容	月 日	回数	講 師	参加者数
草木染め教室	5/26・6/23・7/28・9/29(織り)・ 10/13(染め)・12/8	6回	板野千恵氏	60人
絵手紙教室	5/24・11/15・2/7	3回	松井悦子氏	33人
日本茶講座	7/31・11/27	2回	斉藤一郎氏	24人
篆刻体験教室	9/21・9/28	2回	龍舞篆会	19人
彫刻体験教室	2/9	1回	吉村浩美氏	10人
まが玉教室	開館日随時受付		職 員	200人



草木染め教室（織り体験）



絵手紙教室（カード作成）



篆刻体験教室



彫刻体験教室

歴史講演会等

第8回金山歴史講演会

- と き 平成24年5月13日(日)
- 講 師 齋藤慎一氏（江戸東京博物館学芸員）
- 演 題 太田金山城の最新研究
- 参加者 68人



第9回金山歴史講演会

- と き 平成24年10月6日(土)
- 講 師 亀山 章氏（東京農工大学 名誉教授）
- 演 題 金山の歴史的に見た自然と今後の管理の在り方
- 参加者 33人



第10回金山歴史講演会

- と き 平成25年2月17日(日)
- 講 師 宮田 毅（太田市職員）
- 演 題 金山城八王子山ノ砦について
- 参加者 80人



ギャラリートーク

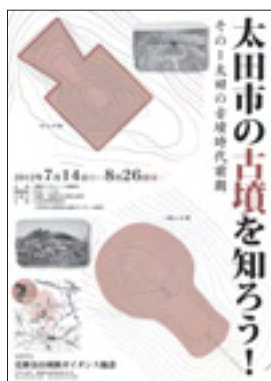
- と き 平成25年1月26日(土)
- 講 師 吉村浩美氏（彫刻家）
- 内 容 「乾漆彫刻展」制作工程説明
- 参加者 25人





ギャラリー展示

史跡金山城跡だけでなく、ガイダンス施設に立ち寄る楽しみや、太田市の文化や歴史に触れていただく機会となることを目的として企画展示しています。



太田市の古墳を知ろうポスター



戦国武将印と篆刻展



金山のグループ活動展



乾漆彫刻展

企画展名	期間	来場者
江田館跡展	5月12日～7月1日	2,859人
太田市の古墳を知ろう	7月14日～8月26日	3,669人
戦国武将印と篆刻展	9月1日～10月28日	3,076人
金山のグループ活動展	11月10日～12月16日	1,395人
乾漆彫刻展	1月12日～2月24日	2,399人

文化振興事業 「林家たい平落語会」

今年度はじめて、ガイダンス施設を日本古来の伝統文化発信地としていくことを目的として開催しました。

テレビの「笑点」でお馴染みの「林家たい平」さんを招き、武士の生活を題材とした落語会を行いました。サービス精神溢れる芸風に皆さん聞き入っていました。

今後も、日本文化の伝承を中心とした親しみやすい文化行事を開催して行きたいと思います。

- と き 平成24年10月26日(金)
- 参加者 49組 (98人)

